

教員の養成の目標

山口芸術短期大学保育学科は、建学の精神「至誠」にもとづき、芸術によって育まれた豊かな感性と創造性を礎に、地域社会から真に求められる保育者の養成を目的として、以下の2点を教育の目標としています。

- ・保育に関する専門的知識や技能とともに、感性や人間性を磨き、コミュニケーション能力や表現力、創造性、実践力を身につけます。

- ・乳幼児の保育とともに、児童や障がい児の支援、保護者の育児相談や地域の子育て支援など、多様なニーズに対応できる課題解決力を身につけます。

目標を達成するための計画

山口芸術短期大学保育学科では、変化の激しい現代において上記の目標を達成するために、2021年に定めた宇部学園ビジョン2030にもとづき、建学の精神「至誠」の心の継承と社会変化や多様性への対応をめざして取り組んできました。2026年からは、その後期計画に取り組んでいます。

具体的には、これまで培ってきた芸術を基盤とした教育を通して、豊かな感性や人間性を育みながら、学外、地域と連携しての子育て支援行事等、正課内外の活動を積極的に行い、また、地域の幼児教育・保育施設と連携した学外実習を軸として、理論と実践を相互に往還するカリキュラムを構成するなど、実践を通して課題を発見し、それらを創造的に解決する力の育成に取り組んでいるところです。さらに、教職課程を含む教育課程においては、幼児を対象とした各種専門的な内容とともに、乳児や特別な配慮を必要とする子ども、また子育て家庭の保護者の育児相談にも対応できるよう、授業を通じて知識を獲得できるようにしています。

なお、学内の教育課程全体を通じて、グループワークやディスカッション等のアクティブラーニングを積極的に取り入れることで、学生の主体的な学びの姿勢にもとづくコミュニケーション能力や表現力、課題解決力の向上に努めています。

また、入学前から卒業後に至るまで、一貫したキャリア教育を構築し、学生の進路実現のサポートをするとともに、地域の幼児教育・保育の現場において、真心を尽くして業務にあたることのできる心情を涵養し、真に必要とされる保育人材の養成に取り組んでいます。